

緑の相談所だより

{ 8. 9月号 ~1991. 7.31~ 発行・編集 旭川市緑の相談所 }

講習会

いずれの講習会も一般市民の方の参加をお待ちしております！
お申し込み・お問い合わせは…
緑の相談所（神楽岡公園）☎65-5553

*鉢花秋の管理

日時 8月25日（日） 午後1～3時

講師 村田 正一 相談員
（緑の相談所）

内容 クジャクサボテン、シャコバサボテン、シクラメン
ポインセチヤ、その他
お手持ちの鉢をお持ち下さい。診断いたします。

*樹木類の休眠について

日時 9月 8日（日） 午後1～3時

講師 小島 博昭 相談員
（緑の相談所）

内容 休眠期に入る前の作業と冬囲いの必要性と方法について、
実技をまじえての講座。

季節の花ことば

コスモス

少しの風にもさからわず、いかにも頼り
なげにゆれているコスモスですが、実は信
じられないほどのたくましい生命力にあふれた花なのです。もし風に
なぎ倒されたとしても、必ず立ち直って咲き続けるのです。

ピンクやうす紫の花いろは「乙女のまごころ」と呼ぶにふさわしい、
優しい色合いです。

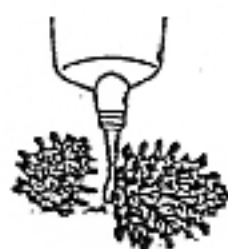
群れをなす色とりどりのコスモスと、澄みわたった秋の空とのコン
トラストは、心の洗われるような光景です。

乙女のまごころ。少女の愛情



マツボックリの人形

マツボックリが、かいじゅうにへん身します。
かいじゅうのなか間を作ってみましょう。



① 大、小のマツボックリ
をボンドでせっちやく
し、動物のどう体と頭
を作ります。



④ マツボックリ
に木の葉をボ
ンドでつけて、
おにします。



② アルミ線を曲げて、
マツボックリをのせ
られる足を作ります。

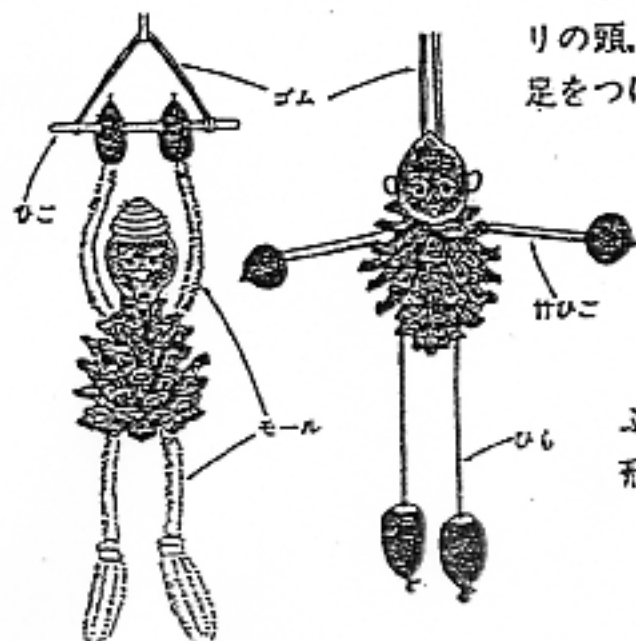
③ 画用紙で目の
形をつくり、
色ペンで目玉
をかきボンド
でつけます。

マツボックリの体にドング
リの頭、ひもやモールの手、
足をつけます。

マツボックリと

ドングリの

ぶらぶら人形。



ゴムでつると、ぶら
ぶらゆれて、ゆかいな人
形になります。

庭木類の管理 夏から秋 (特に肥料やり)

8月中旬をすぎると最高気温、平均気温ともに下降線をたどりますが、今の時期は暑さも最高の時期ですので、水を必要とするものには水を十分にあたえるとともに、花木類にとっては花芽形成の大事な時期でもありますので、肥料もタップリとあたえる事が大切です。

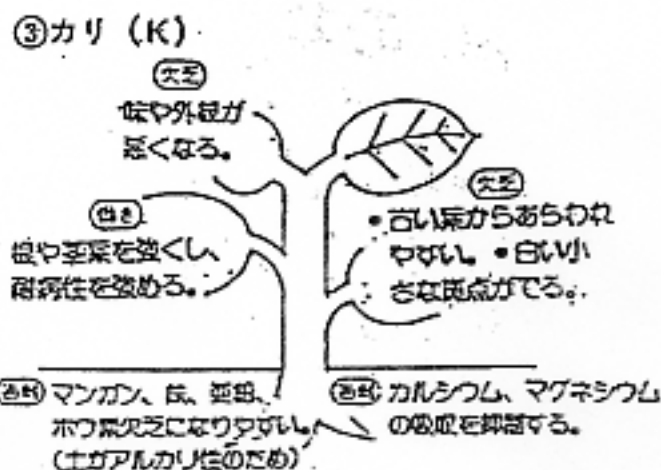
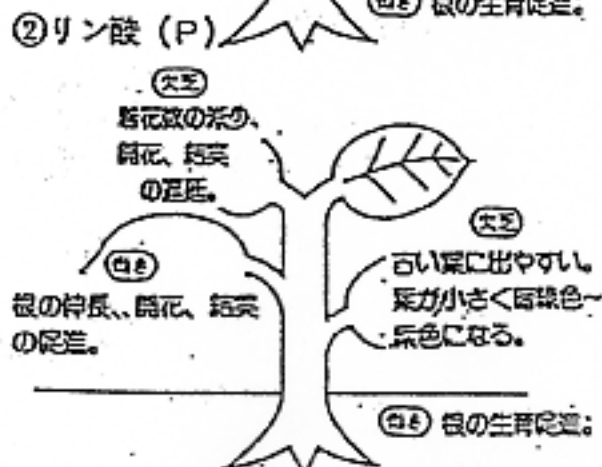
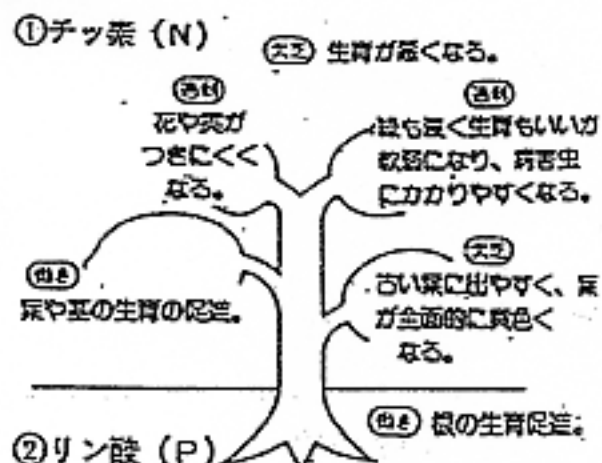
灌 水

花木類の中で、特に水を要求するツツジ、シャクナゲ類には水は十分にあたえる事が大切です。

肥 料

庭木類の生長は今の時期は肥大生長の時期であり、花木類にとっては花芽分化の時期でもありますので、草木灰、硫酸カリなどカリ分を主体にした肥料やりが大切です。耐寒力をつけるためにも秋口のカリ分肥料は大切です。硫酸カリについては、1ヶ月に2～3回程度1,000～1,500倍で一平方メートル当たり、5～10リットルを一回量の目安としてあたえると良い。

三要素の成分のはたらきは次図の通りです。



8月は中旬ころまでは暑い日が続きますが、中旬を過ぎると気温も次第に低くなり、日照時間も短くなって秋の気配が次第に濃くなっていきます。
この時期を境に手入れの仕方も変わっていきます。

■庭の花類

- ・ **ダリヤ** . 花の時期になりますが、大輪、中輪の系統は株が混み合わないよう上の方の脇芽は早めに欠き取ります。つぼみも中心を残して脇つぼみはなるべく早めに欠き取っておくといい花が咲きます。そのままにしておくと切り花にしにくくなります。
- ・ **キク** . 虫や病気がつきますから殺虫剤と殺菌剤をまぜて葉の裏に丁寧にかけおくといいでしょう。7~10日おきに定期的なかけ予防につとめます。
- ・ **花壇の花** . サルピヤ、マリーゴールド、ペチュニヤ、コリウス、など種が着くと株が弱ります。切り取ったり摘み取ったりして消耗を防ぎます。ペチュニヤが伸び過ぎ姿が乱れたら切り戻し剪定をします。マリーゴールドは特にハダニの害がひどくなりますハダニ専用の薬を葉裏に丁寧にかけて防ぎましょう。

■イチゴの苗植え

初夏の味覚イチゴは8月中に苗の植え付けをすませます。株間は30センチとりますが、うね幅80センチなら1列、1畝~1.2畝とれるなら2列植えにします。植え床に堆肥をたっぷり、苦土石灰、過燐酸石灰、油粕、骨粉などをすきこんで早めに準備しておきます。親株から出たランナー（つる）についている元気のいい子株を切り取って植えます。植え付けは深植えしないように葉柄の付け根が埋まらないよう特に注意します。

プランターでも育てることができます。プランターに庭植えと同じように堆肥、肥料を混ぜた土を入れ、株間15センチくらいに数株植えます。冬はそのまま雪の下にしておきます。

イチゴの親株はランナーを出しますが、子株をとらないのなら親株を太らせるためにランナーは欠き取ります。

■鉢花類

- ・ **シクラメン** . 暑さに弱いので暑い時期は日陰の涼しい所に置いてください。球根をおさえて軟らかくなったものは腐っていますから捨てます。葉が無くなったものは水をやらないで乾いたままにしておきます。葉があるものはしおれ始めたら水をやるくらいに乾き気味に夏を越します。涼しくなると元気を回復し、新芽が見えてきます。そうなったら植え替えをします。葉のないものは古土を全部落とし、赤玉土か庭土5に腐葉土4、もみがらくん炭1を混ぜた土で植えます。球根は上半分が地表に出るように注意して植えます。葉のあるものは、一回り大きな鉢に根土をくずさずに入れ、まわりに上と同じ土を詰めてやります。

病気を防ぐために、殺虫剤を球根の頭にかけておきましょう。

殺菌剤

